

プログラム一覧

緑色・平成16年度 朱色・平成17年度 桃色・平成18年度
紫色・平成19年度 黄色・平成20年度

1 森・山・里山・社寺林をフィールドとしたプログラム・・・21

動物たちのかくれんぼ	森	1・2
ミラクルはっぱで遊ぼう	森	3・4
えだ枝ツンツン葉っぱ	森	5・6
こんなゴミをみつけよう	森	7・8
くものすゲーム	森	9・10
さわってごらん、木の声が聞こえるよ！	森	11・12
はじめての冒険	森	13・14
森の中でみつけた！	森	15・16
プレゼントを探しに行こう！	森	17・18
ふわふわ、さくさく、木～もちいい	森	19・20
あきのとおりみち	森	21・22
ひとにぎりの粘土	森	23・24
“ナッチュのはやし”はみんなのワンダーランド	森	25・26・27
さがしてみよう！集めてみよう！作ってみよう！	森	29・30
木となかよし	森	31・32
耳すまそう、探してみよう！！	森	33・34
竹やぶ大冒険！	森	35・36
段々畑のおくりもの	森	37・38
つなげてつなげて 円ダフル！！	森	39・40
見て 触って 探して あそぼう！！	森	41・42
みんなでスクラツ木！！	森	43・44
このふわふわなんだろう？	森	45・46
ぼくもわたしも、みんなもぐら！	森	47・48
きいてみよう 森の声	森	49・50
森の妖精の贈り物を探そう	森	51・52

2 川・湖・池をフィールドとしたプログラム・・・37

ゴールに向かってプカプカリン	川	1・2
さかなに変身	川	3・4
宝石さがし	川	5・6
川の大工さん	川	7・8
突撃！となりのヒミツの部屋	川	9・10
見て・さわって・不思議体験	川	11・12
プカプカ・サラサラ・ザーッ！	川	13・14
みずべのいきもの なにがいる？	川	15・16
おしゃれなカモ（水鳥）さん	川	17・18

そーっと すりすりしてごらん！	川	19・20
ぼくとわたしのごちそうをつくろう	川	21・22

3 田畑・野原・園庭・公園をフィールドとしたプログラム・・・45

土っておもしろいな	田	1・2
冬でも田んぼ（休耕田）は生きている	田	3・4
におってさわってなんでしょう？！	田	5・6
なぁににタッチ？	田	7・8
見てみよう！雪の結晶	田	9・10
コスモスの宝物	田	11・12
かおりの森へ行こう！！	田	13・14
どこからくるの？びわこの水	田	15・16
どんぐりころころ	田	17・18
落ち葉のファッションショー	田	19・20
みんな集まれ ハッピークリスマス	田	21・22
みんな生きているんだ	田	23・24
にげるバッタ、秋の草まで	田	25・26
田んぼの虫になりきろう	田	27・28
田んぼで電車ごっこ	田	29・30
みんなで わら笑 うんどうかい！！	田	31・32
みい～つけた冬の自然	田	33・34
園庭の宝石探し	田	35・36
はっぱのいろいろさがし	田	37・38

4 自然体験施設をフィールドとしたプログラム・・・57

魔法のめがねで遊ぼう	施設	1・2
オータムビンゴ	施設	3・4
森のジャンケン	施設	5・6

5 お役立ちアイテム・プログラムアレンジ技法・・・64

「な～んだ？袋（ボックス）」のアレンジ	64 - 2
「オータムビンゴ」のアレンジ～自然物ビンゴ～	64 - 3

【実施時間について】

プログラムの実施時間は基本的には30分で考えていますが、各園の子どもたちの様子や環境、時期によって、プログラムの時間は工夫してください。

プログラム名		段々畑のおくりもの							
対象年齢		年 長 (5～6歳)							
ねらい	メッセージ	段々畑であそぶ楽しさに気づこう							
	発見・体験できること	<ul style="list-style-type: none"> ・地面の感触やにおい ・段々畑の上や下や横からからの景色 ・葉っぱや花、生きものの発見、感触やにおい 							
参加者のめやす		幼児 30×3グループ / 支援者 3人							
実施時間		30分							
フィールド									
	森・社寺林公園	山・里山	川	湖・池	田畑・野原	園庭・公園			
実施可能時期									
自然を感じるためのヒント									
時間	活 動				配慮・アドバイス アレンジ				
7分	段々畑を登る 				いろんなものを探しながら移動することで、自然に段差があることや土の感触などを味わえるようにしましょう。 				
3分	上から景色を見る								



時間	活動	配慮・アドバイス アレンジ
3分	隠れている支援者を探す	支援者は段々畑の斜面にくっつくように隠れます。子どもたちは一番上からどこに支援者が隠れているのかあてましょう。
7分	動物や虫になって隠れる	隠れているときに見つけたものや気づいたり、発見したりしたことを尋ねます。 見つけた花や葉っぱはにおったり、触ったりしてみましょう。
5分	段々畑を降りる 跳ぶ・歩く・走る	ジャンプして降りるときは、子どもたちの様子をよく見て、援助をします。 
5分	ふりかえり ・下から上を見してみる	子どもたちが発見したことや気づいたことを共有します。

【異年齢への対応】

- 年少：・雨の場合はできませんが、晴れていたら、段々畑を這うように登ってみましょう。
・支援者が探してきた葉っぱを触ったり、におったりしてみましょう。
- 年中：・同じことができます。

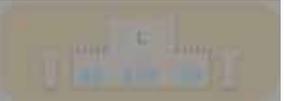
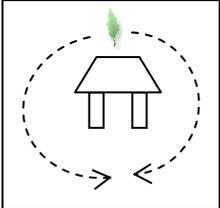
【園や家庭に帰ってから】

- 見つけた生きものを図鑑で調べてみましょう。
砂場や田んぼなど、土の感触の違う場所であそんでみましょう。
段々畑にいた生きものと園や家の近くにいる生きものを比べてみましょう。

**準備物・
教材等**

- ・服装（長袖、長ズボン、長靴）

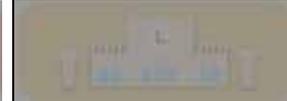


プログラム名		つなげてつなげて ^{エン} 円ダフル！！							
対象年齢		年 長 （ 5 ～ 6 歳 ）							
ね ら い	メッセージ	枝を通じて、自然の循環に気づこう							
	発見・体験 できること	<ul style="list-style-type: none"> ・枝の形のおもしろさや堅さなどの感触、音 ・枝の一生 							
参加者のめやす		幼 児 5 5 人		/		支 援 者 3 人			
実施時間		3 0 分							
フィールド									
		森・社寺林 公園	山・里	川	湖・池	田畑・ 野原	園庭・ 公園		
実施可能時期									
自然を感じる ためのヒント									
時 間		活 動			配 慮 ・ ア ド バ イ ス ア レ ン ジ				
5 分		集まって話を聞く ・枝がたくさん落ちている場所 を考える			あらかじめ長さや形の違う枝を準備しておきます。 枝の長さや形のおもしろさなどに興味を持つように 話しかけます。				
1 0 分		枝を探しに行く			落ちている枝を拾うことと神社から出ないことを話 します。				
		<ul style="list-style-type: none"> ・探した枝をクラスごとにつな げて、お堂周りに円をつくる 			 <p>スタートに大きな葉っぱをおいておきます。</p> <p>森の中や枝を並べる先頭の辺りで、子供たちを見守っ たり、支援したりします。</p> <p>長さを比べたり、積んだりすることができます。 枝を使って立体制作をすることができます。</p>				



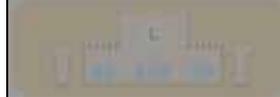
時 間	活 動	配慮・アドバイス アレンジ
5分	<p>つながった枝の上を歩く (1周する)</p>  <p>落ちたらワニに食べられよ!!</p> <p>イメージが膨らみます</p>	<p>ゆっくりと枝の感触を味わって、歩けるように声をかけます。</p> <p>音に注目しましょう。 枝を二重にして、ドーンジャンケン(陣取りゲーム)をすることができます。</p>
5分	<p>ふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 枝の話を聞く ・ 枝を森の中に還す 	<p>枝が踏まれたり、雨などで腐ったりしてやがて土にもどっていくことに気づけるように話します。</p>  <p>木の栄養になるから、森の中に還すよ。</p>
<p>【異年齢への対応】</p> <p>年少：・ 枝や葉っぱを拾ってきて、見立てあそびをしてみましょう。 ・ 枝の上を歩いて、感触を味わってみましょう。</p> <p>年中：・ 同じあそびができます。</p>		
<p>【園や家庭に帰ってから】</p> <p>枝1本でできるあそびを家庭に紹介しましょう。 親子活動で枝を使ったクラフト作りをしましょう。(例)リース、のれんなど 園にあるものをつなげてあそんでみましょう。 園にあるもので、長いものや丸いものを探してみましょう。</p>		
準備物・教材等	・ 長さの違う枝を数本	



プログラム名		見て 触って 探して あそぼう！！							
対象年齢		年 長 （ 5 ～ 6 歳 ）							
ねらい	メッセージ	自然物のつながりに気づき、全てのものが必要であることを知ろう							
	発見・体験 できること	<ul style="list-style-type: none"> ・木、葉、苔の違い ・木、葉、苔の感触、色、形など 							
参加者のめやす		幼児 25人 / 支援者 4人							
実施時間		40分							
フィールド									
	森・社寺林 公園	山・里	川	湖・池	田畑・ 野原	園庭・ 公園			
実施可能時期									
自然を感じる ためのヒント									
時 間	活 動			配慮・アドバイス アレンジ					
5分	導入 ・グループごとに集まる ・周りを見る ・説明を聞く			周りを見渡して、「何が見えるかな？」と問いかけます。 木、葉、石、苔などたくさんの自然物があるが同じ形のものがないことに気づくようにします。					
15分	1. 木の写真を見る 2. 写真の特徴を話し合う 3. 写真の場所を探しに行く 4. 見つけたものを触る			特徴が出やすいように、支援者も一緒に考えます。 触った感じを言葉にした子どもたちの思いを受け止め共感しましょう。 拾ってきたものを入れる袋、または置く場所を決めます。 木、葉、苔を見ながら、それぞれがつながっていることや必要であることを伝えます。					
	 <p>ザラザラやな</p>			 <p>モコモコしている</p>					
	5. 1人一つ、木の枝を拾う ・葉、苔についても上記1～5の活動をする。			苔					

時 間	活 動	配慮・アドバイス アレンジ
15分	<p>拾った木、葉、苔で表現あそび</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人で好きな形を作る  <p>森で見つけたカニだよ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで好きなものを作る 	<p>「こんなものできるよ」と支援者の作ったものを見せ、子どもたちのイメージがふくらむようにします。</p> <p>各グループで話し合いながら、楽しく作れるようにしましょう。</p>  <p>キャラクターを作っています</p>
5分	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれのグループの作品を見て回る ふりかえり ・使った自然物は元あったところに還す 	<p>木と葉と苔の違いや関係について話しましょう。</p>
<p>【異年齢への対応】</p> <p>2歳児：自然の中を支援者と一緒に探検してみましょう。</p> <p>年少：支援者と一緒に探検しながら、種類別に自然物を探しましょう。</p> <p>年中：拾い集めた自然物で、好きなものを作ってみましょう。</p>		
<p>【園や家庭に帰ってから】</p> <p>園にある自然物で制作し、展示しましょう。</p> <p>似顔絵を描いて、違いに気づき、認め合いましょう。</p> <p>家の人と草花を拾いにいき、制作あそびをしましょう。その際、生えている草花は採らないことと使った草花はもとに還すように伝えます。</p>		
準備物・教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・写真（木・葉・苔） ・白い布（約1m×1m）：グループ数 ・拾ったものを入れる袋：人数分 	

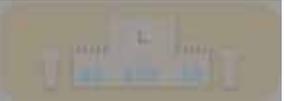


プログラム名		みんなでスクラッチ木！！							
対象年齢		年中・年長（４～６歳）							
ねらい	メッセージ	人間と同じように木も１本１本違いがあることに気づこう							
	発見・体験できること	<ul style="list-style-type: none"> ・こすりだし ・木の感触（暖かさ、手触り）、色、においなど ・木の違い、種類 							
参加者のめやす		幼児 ４０人 / 支援者 ７人							
実施時間		３０分							
フィールド									
		森・社寺林公園	山・里	川	湖・池	田畑・野原	園庭・公園		
実施可能時期									
自然を感じるためのヒント									
時間		活動				配慮・アドバイス アレンジ			
5分		<p>大きな木の近くに集まる</p> <p>こすりだしの方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見本を見る ・やり方を見る <p>・約束事を聞く</p>				<p>あらかじめこすりだしたカードを見本として用意しておきます。</p> <p>子どもたちに、こすりだしを実際にやって見せ、わかりやすくやり方を伝えます。木にも触るように伝えます。</p> <p>木のこすりだしは、縦に塗るよりも横に塗った方がよくわかります。</p>			
10分		<p>こすりだし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに好きな木のこすりだしをする <p>（１本の木を決める 木に触るこすりだし）</p> 				<p>他のグループと同じ木にならないようにします。</p> <p>グループにクレパスと紙を渡します。紙は一枚ずつ渡し、残りは支援者が持っています。</p> <p>各グループに支援者が一人ずつつき、支援します。木の感触もわかるように声かけをします。</p> <p>（例）「どんなにおいがしたかな？」 「この木は冷たいかな？ 温かいかな？」</p> <p>こすりだしたものを、木に貼り付け展示してみましよう。</p>			



時間	活動	配慮・アドバイス アレンジ
10分	<p>こすりだし当てっこゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> こすりだしのカードを見る グループで木を探し、こすりだしをする 答え合わせ (同じ模様の木の所に行き、正解を確かめる) 	<p>あらかじめこすりだしたカードを2種類用意しておきます。(杉・竹など種類が違い、その森にあるもの)</p> <p>グループで手をつないで探しに行くことを伝えます。</p> <p>グループでしたこすりだしと用意しておいたものを見比べて、正解を伝えます。</p> <p>こすりだしのカードと実物のカードを作り、合わせあそびができます。</p>
5分	ふりかえり	<p>みんなが一人ひとり違うように、木も1本1本違うことなどのメッセージを伝えます。</p> <p>あらかじめ用意しておいた園のシンボルの木のこすりだしを見せて、園に帰ってから探します。</p>
<p>【異年齢への対応】</p> <p>年少：・身近にあるものをこすりだして、当てっこゲームをしてみましょう。 (例) 10円玉、イチヨウの葉っぱ、モミジの葉っぱ、ドングリなど</p> <ul style="list-style-type: none"> 木に触ったり、におったりして、感触を感じてみましょう。 合わせあそびをしてみましょう。 		
<p>【園や家庭に帰ってから】</p> <p>こすりだした木の肌(紙)をつなぎ合わせて1本の木を作ってみましょう。</p> <p>葉っぱなどの自然物でスタンプあそびをしてみましょう。</p> <p>園や家庭にあるいろいろなものでこすりだしをしてみましょう。</p> <p>ペンや鉛筆など素材を変えて、また紙の形や大きさを変えてこすりだしをしてみましょう。</p> <p>園にはない木肌を探してみましょう。</p>		
準備物・教材等	<ul style="list-style-type: none"> 紙(子ども用：A4の1/4を1人3枚・支援者用：A3 10枚) クレパス(各1本 グループの色) はさみ(グループ数) こすりだし(4種類：見用・2種類：ゲーム用・シンボルの木) セロテープ(グループ数) 	

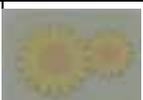


プログラム名		このふわふわなんだろう？							
対象年齢		年 長 （ 5 ～ 6 歳 ）							
ね ら い	メッセージ	土の中にも命があることを知る							
	発見・体験 できること	<ul style="list-style-type: none"> ・土のやわらかさ、冷たさ ・土のにおい ・土の中に住んでいる生き物の発見 							
参加者のめやす		幼児 30人 / 支援者 人							
実施時間		30分							
フィールド									
		森・社寺林 公園	山・里	川	湖・池	田畑・ 野原	園庭・ 公園		
実施可能時期									
自然を感じる ためのヒント									
時 間		活 動				配慮・アドバイス アレンジ			
5分		森の中を歩く ・感じたことを話す				泥んこになってもよい服を着てくるように伝えます。 必要以上に自然環境に負荷を与えないように、あらかじめテープなどで範囲を決めておきます。 子どもたちに森の中を歩いた感想を聞いてみましょう。			
10分		地面を見たり触ったりする ・ふわふわしているところや穴を見つける ・触ったり、見たり、手を入れたりする ・穴を掘る ・土の感触 ・穴がつながっていることに気づく				素手で掘るので、土に触れない子どもには無理強いせず、支援者が触ってみたり、友だちの発見を伝えたりします。 子どもたちが発見したり、感じたりしている様子を見守り、共感したり、周りの友だちに伝えたりします。 根っここの話をしてみましょう。			
						 <p>穴がある</p> <p>ここスカスカしてる</p> <p>モグラがいるのちがう？</p> <p>根っこがつづいてる</p>			



時間	活動	配慮・アドバイス アレンジ
8分	感じたことを話し合う ・土の中に生き物がいることを発見 ・掘った穴について考える	子どもたち一人ひとりの声を受け止め共感しましょう。 子どもたちが発見したり、不思議に思ったりした事から土の中にもたくさんの命があることに気づけるような声かけをします。 土や発見したものをルーペで見ても良いでしょう。 掘った穴を子どもたちとどうしたら良いか考え、生きものが困らない状態にするにはどうしたらよいか気づかせます。
7分	穴を埋める	 <p data-bbox="1204 918 1380 1041">モグラのお家を直してあげよ。</p> <p data-bbox="726 1086 845 1220">そっとそっとしよな。</p>
【異年齢への対応】 年少：素手で掘り、土の感触を楽しみましょう。 年中：同じ活動ができます。		
【園や家庭に帰ってから】 見つけた虫など図鑑で調べましょう。 保護者には、通信などで楽しくあそべたことに加えて、命の大切さや身についた力や心の成長を知らせましょう。 チューリップの球根やサツマイモなど家族で植えてみましょう。 園では、畑など掘ってもよい場所を素手で掘ってみましょう。		
準備物・教材等	ビニールテープ（活動範囲の目印に使う）	



プログラム名		ぼくもわたしも、みんなモグラ！							
対象年齢		年 長 （ 5 ～ 6 歳 ）							
ね ら い	メッセージ	いろいろな感覚を使って自然を感じる							
	発見・体験 できること	<ul style="list-style-type: none"> ・においや音、光や手触りなどの感覚 ・モグラの気持ち 							
参加者のめやす		幼児 30名 / 支援者 6人							
実施時間		30分							
フィールド									
	森・社寺林 公園	山・里	川	湖・池	田畑・ 野原	園庭・ 公園			
実施可能時期									
自然を感じる ためのヒント									
時 間	活 動				配慮・アドバイス アレンジ				
5 分	モグラの説明を聞く				<p>事前にロープを張り、活動場所を決めておきます。 6グループに分かれておきます。</p> <div data-bbox="715 1254 1476 1680" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px;"> <p>【豆知識】モグラの特徴</p> <p>食べ物：ミミズや昆虫</p> <p>モグラはスコップのような大きな手と爪と、手のひらにある弓状の骨で、土を掘ったり、餌を探したりします。目は退化していますが、嗅覚は発達しています。土の中には、巣穴の他、餌を保存する貯蔵庫とトイレ、餌を探すためのトンネルがあります。</p> </div>				
20分	木と木の上にロープを張り、モグラの家や道を作る				<p>4本の木を使うように伝えます。</p> <div data-bbox="1141 1747 1476 1982" style="text-align: right;">  </div>				



時 間	活 動	配慮・アドバイス アレンジ
5 分	<p>目を閉じて、ロープに沿って歩く においや土の感触を感じながら、もう一度歩く</p> <p>ふりかえり ・気づいたことを話す ・かたづけ</p>	<p>木のポイントでは目を開けてもよい事を伝えます。 他のグループが作った道も歩いてみましょう。</p> <div data-bbox="884 412 1257 667" data-label="Image"></div> <p>目を閉じて、ロープづたいに歩きます</p> <p>二度歩いたことの違いを聞きます。 目を閉じたことで、いろいろな感覚が研ぎ澄まされることに気づきましょう。</p> <p>お勧め絵本 ・「もぐらのディガー」 作：テサ・ポター 絵：ケン・リリー ・「もぐらのグラボー」 作・絵 : ルイズ・ムルシュツ</p>
<p>【異年齢への対応】 年少：・好きな木を選び、その木の周りを、目を閉じて歩いてみましょう。 ・紙芝居などで、土の中にいる生きものについて知識を得ましょう。 ・家や道を作る活動と目を閉じて歩く活動を別の日にしましょう。 年中：同じ活動ができます。</p>		
<p>【園や家庭に帰ってから】 園庭にロープを張り、同じ活動をしてみましょう。 家庭では、家族で手をつなぎ、30秒間真っ暗にしてみましょう。 段ボールなどで、モグラの家作りをしましょう。</p>		
準備物・ 教材等	ロープ	

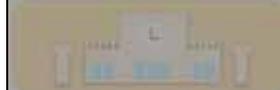


プログラム名		きいてみよう 森の声					
対象年齢		年中・年長(4～6歳)					
ねらい	メッセージ	森にはいろいろな生きものがいることに気づこう					
	発見・体験できること	<ul style="list-style-type: none"> ・見たり、探したりすることの楽しさ ・いろいろな音 					
参加者のめやす		幼児 30人		/		支援者 2名	
実施時間		20～30分					
フィールド							
		森・社寺林公園	山・里	川	湖・池	田畑・野原	園庭・公園
実施可能時期							
自然を感じるためのヒント							
時間	活動	配慮・アドバイス アレンジ					
5分	自然の音を聞く ・どんな音が聞こえたか話し合う	これからする活動に興味を持てるように話を進めます。 注意事項を伝えます。 静かに音が聞けるような雰囲気づくりをします。 子どもたちの気づきに共感し、イメージが膨らむように話を進めます。					
5分	支援者が出した音を聞く	竹の音や竹を揺らした音など、森の中の音を工夫して出してみましょう。 (例)・枯れた竹の上を歩く音 ・竹をたたく音 どんな音がしたのか、尋ねてもいいでしょう。					



時 間	活 動	配慮・アドバイス アレンジ
10分	音探し ・支援者が出した音を探す ・友だちと探す 	注意事項 ・笛の合図で元の場所にもどります。 ・支援者が見えるところで探します。 ・音が出たものは持って帰っても良いが、折ったりちぎったりしないことを伝えます。 ひとりで探すのではなく、友だちと一緒に探しに行くことを伝えます。 探し行く前に期待がふくらむようにしましょう。
5分	探してきた音を伝え合う ・音を出す	子どもたちの気づきに共感したり、援助したりしましょう。 個々の気づきを取り入れながら、実際に音を出し、研究しあえるようにしましょう。 子どもたちが見つけた音のところに行き、実際に音を出し、共有しましょう。
5分	ふりかえり	森の中には、いろいろな音があることをふりかえりながら、森のなかには、いろんな生きものが生きていることに気づけるようにしましょう。 たたいてならず楽器もあれば、こすってならず楽器もあることにふれることで、自分たちの生活と結びつきます。
【異年齢への対応】 年少：支援者と一緒に音を楽しみます。 年中・年長：竹をリズムに合わせてたたいてみましょう。		
【園や家庭に帰ってから】 竹で楽器を作り、運動会などで活用してみましょう。 家庭や公園などで、存在する音を親子で探してみましょう。 音を言葉にして表してみましょう。		
準備物・教材等		



プログラム名		森の妖精の贈り物を探そう							
対象年齢		年中・年長（４～６歳）							
ねらい	メッセージ	自然の中で相手を思いやりながら共に過ごす大切さに気づこう							
	発見・体験できること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 林や森の中の暗さ、湿気、土、においなど ・ 竹の感触 ・ 落ち葉の下の自然物の発見 							
参加者のめやす		幼児 30人		/		支援者 2人			
実施時間		30分							
フィールド									
		森・社寺林公園	山・里	川	湖・池	田畑・野原	園庭・公園		
実施可能時期									
自然を感じるためのヒント									
時間		活動				配慮・アドバイス アレンジ			
準備	森の妖精からの手紙					当日までに、森の妖精から森の誘いの手紙が来ていると子どもたちに伝えておきます。妖精の手紙は、葉っぱなどで自然素材を活かして作ります。			
10分	あそびの説明を聞く					竹や木の枝などでけがをしないよう注意して活動するように伝えます。			
	ひもをはる					高い場所や低い場所にひもを張り巡らしてみましよう。			
	・ 5歳児が竹から竹へひもをはる								
	・ 4歳児は支援者と一緒にする					4歳児は決められた範囲で支援者と一緒に行動しましょう。			
									

時 間	活 動	配慮・アドバイス アレンジ
15分	<p>森の妖精の贈り物探し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4・5歳児がペアになる ・ スタート ・ はりめぐらしたひもをくぐったり、またいだりしながらゴール地点まで行く ・ 竹を登り、森の妖精の贈り物をもろう <p>ふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発見したことを共有する ・ あとかたづけ 	<p>ペアが協力しあって行動できるように伝えます。</p>  <p>天候によって贈り物の高さを変えましょう。</p>  <p>森の妖精の贈り物は自然の中のものを妖精からの贈り物として、準備します。</p> <p>子どもたちの発見を話したり、自然についての話をしていきましょう。</p> <p>土に還るゴミと還らないゴミの違いを伝えながら一緒に片づけます。</p>
<p>【異年齢への対応】</p> <p>年少：コースができた状態で、贈り物は支援者が渡します。</p>		
<p>【園や家庭に帰ってから】</p> <p>生活の中で、再利用できるゴミを使う機会を作るように促します。</p> <p>園では、ひもではなくゴムを使ってコースを作り、ゴム飛びなどに発展させてみましょう。</p>		
<p>準備物・教材等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ タフロープ（白2、黄6） ・ 森の妖精からの手紙（葉っぱなど自然の素材を活かす） ・ はさみ ・ ビニール袋 ・ 和紙に包んだ森の妖精からの贈り物（どんぐりとひまわりの種）二人に一つ・ 	



プログラム名		そーっと すりすりしてごらん！							
対象年齢		年少（2歳）							
ねらい	メッセージ	いろいろな自然物があることに気づこう							
	発見・体験できること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然物の形や感触 ・ 自然物とあそぶ楽しさ 							
参加者のめやす		幼児 20人		/		支援者 5人			
実施時間		20分							
フィールド									
		森・社寺林公園	山・里	川	湖・池	田畑・野原	園庭・公園		
実施可能時期									
自然を感じるためのヒント									
時間		活動				配慮・アドバイス アレンジ			
10分		<p>話を聞く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 支援者のそばに集合 <p>好きな物を見つける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 石・葉っぱ・ドングリなど <p>拾ってきた物を一つ選び、支援者に見せる</p>				<p>湖岸であそびます。</p> <p>かぶれてしまうような物や危険な物がないか、確認しておきます。</p> <p>合図で集まることを知らせます。</p> <p>どんな物が落ちているのか子どもたちに知らせ、好きな物を探ることができるようにしましょう。</p> <p>ゆっくりと子どもたちが好きな物を探せる時間をとりましょう。</p> <p>子どもたちが好きな物を発見できたことに共感し、喜びを十分に感じられるようにしましょう。</p> 			

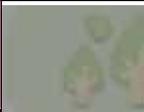
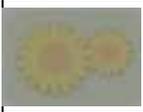
時 間	活 動	配慮・アドバイス アレンジ
10分	<p>自然物を身体のいろいろな部分で感じる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何回か繰り返す <p>友だち同士で感触を楽しみ合う</p> <p>ふりかえり</p>	<p>「そっとすりすりしてごらん」など優しく身体に触れるように言葉かけをしましょう。</p> <p>子どもたちの感じたことや気づきを受け止めて共感していきましょう。また他の子どもたちにもその姿知らせましょう。</p> <div data-bbox="928 510 1252 741" data-label="Image"> </div> <p>いろいろな自然物があったことやいろいろな感触があったことなどを子どもたちと話し、楽しかったことをふりかえります。</p> <p>琵琶湖の水を触ってみましょう。</p>
<p>【異年齢への対応】</p> <p>年中・年長：・自然物の感触だけではなく、色や形などの特徴を捉えて、多くの自然物があることに気づけるようにしましょう。</p> <p>年長：支援者が言ったテーマのものを、グループで探し発表しましょう。</p> <p>（例）ツルツルしたもの、トゲトゲしたものなど</p>		
<p>【園や家庭に帰ってから】</p> <p>園や身近なところにある自然物で感触を確かめてみましょう。</p> <p>同じ自然物を季節ごとに触り、感触の違いを感じてみましょう。</p> <p>園や家庭にあるぬいぐるみなどのおもちゃの感触を確かめてみましょう。</p> <p>おかあさんのほっぺたや手などの感触を確かめてみましょう。</p> <p>出かけたときに出会った木や花、琵琶湖の水などを触ってみましょう。</p>		
準備物・教材等		



プログラム名		ぼくのわたしのごちそうをつくろう									
対象年齢		年少（2歳）									
ねらい	メッセージ	浜はおもちゃ箱だということに気づこう									
	発見・体験できること	<ul style="list-style-type: none"> ・自然物の感触 ・見たてあそび（造形）を楽しむ ・波の力 									
参加者のめやす		幼児		20人		/		支援者		7人	
実施時間		20分									
フィールド											
		森・社寺林公園	山・里	川	湖・池	田畑・野原	園庭・公園				
実施可能時期											
自然を感じるためのヒント											
時間		活動				配慮・アドバイス アレンジ					
5分		興味をもった物を集める				一人ひとりの様子から、その子の思いに寄り添い共感します。					
10分		見立てあそび ・食べ物に見立てる ・ごちそうづくり				<p>支援者がモデルを示し、子どもがやりたいなと思える気持ちを引き出します。</p> <p>食べ物に見立てる子どもの姿を捉え、他の子どもたちに投げかけます。</p> <p>一人ひとりの見立てを感じ取り、認めていきましょう。</p>					
						 <p>おおきなおにぎりとキャベツと魚とたまごとハンバーグできました。</p>					

時 間	活 動	配慮・アドバイス アレンジ
5分	<p>・ごちそうを食べる</p> <p>波打ち際にごちそうを持っていき、琵琶湖の生きものに分ける</p>	 <p>一人ひとりの満足度を把握しつつ、今までのあそびの中で出会った生きものたちに分けることを投げかけます。</p> <p>子どもたちが琵琶湖に入っていないように気をつけます。</p> 
<p>【異年齢への対応】</p> <p>年中：「きれいな色のごちそう」など工夫できるような課題を決めて、ごちそう作りをしましょう。</p> <p>年長：グループで協力して、ごちそうを作りましょう。</p>		
<p>【園や家庭に帰ってから】</p> <p>園や家庭にある自然物を使って、ごちそう作りをしましょう。</p> <p>おうちの人といっしょに実際にごちそうを作ってみましょう。</p>		
準備物・教材等		



プログラム名		落ち葉のファッションショー							
対象年齢		年長（5～6歳）							
ねらい	メッセージ	自然の変化に気づき、今しかない色を感じよう							
	発見・体験 できること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 葉っぱの色の变化や形の違い ・ 葉っぱの感触 ・ みんなで1つのものを作り上げる喜び 							
参加者のめやす		幼児 35人		/		支援者 4人			
実施時間		30分							
フィールド									
		森・社寺林 公園	山・里	川	湖・池	田畑・ 野原	園庭・ 公園		
実施可能時期									
自然を感じる ためのヒント									
時間		活動			配慮・アドバイス アレンジ				
5分	グループごとに集まる				<p>事前に色や形の違いがわかる葉っぱを準備し、違いがわかるようにします。 (例)「この葉っぱは前はどんな色だったかな？」 「同じ葉っぱでも色が違うね」</p> <p>グループで1つの服を作ることを伝えます。 白いビニール袋の服を見せて、やってみたいという活動への意欲がわくようにします。</p>				
5分	葉っぱを集める ・ 白い布の上に並べる				色や形ごとに分けると見分けやすいことを伝えます。				
10分	葉っぱを白いビニール袋の服に貼り付ける				 <p>グループごとに工夫しているところを認めます</p>				

時間	活動	配慮・アドバイス アレンジ
10分	<p>ファッションショー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに完成した服を見せ合う  <p>ふりかえり</p> 	<p>良いところや工夫をしているところを紹介し、互いに認め合える場にしましょう。 雰囲気盛り上がるように、事前にステージの飾りつけをしておきます。</p> <p>時間があれば子どもたち自身で工夫したところを発表しましょう。 ファッションショーを盛り上げるため、全員で歌を歌うのもいいでしょう。 (例)「まっかな秋」など 衣装を着た子どもたちが全員ステージに出ると、グループごとに作成した衣装の違いがわかります。</p> <p>できあがった服は保育室に飾ることを知らせ、これからの葉っぱの色の変化に興味をもてるように話しましょう。 (例)「今度保育園に来たときは、どんな色になっているかな？」 「今日触った葉っぱの手触りは、今度園に来たときどうなっているかな？一緒かな？違うかな？」</p>
<p>【異年齢への対応】</p> <p>二歳児： あらかじめ袋に両面テープを貼っておき、葉っぱを貼るだけにしておきます。葉っぱを集める日と服を作る日は別の日にします。</p> <p>年少：ベルトやブレスレットのような小さいものを個別に作ることはできます。</p> <p>年中：時間をかければ同じ活動ができます。</p>		
<p>【園や家庭に帰ってから】</p> <p>保育室に出来上がった服を展示し、色や形の変化を見てみよう。 居住地域や周辺の落ち葉にも関心を持ち、遊んでみよう。 図鑑で服につけた葉っぱや木のことを調べてみよう。</p>		
準備物・教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・白色のカラーポリ袋（服の形に切ったものをグループ数） ・白い布（グループ数） ・麻紐（作成した服の腰紐にします。グループ数） ・セロハンテープ（グループ数） ・ブルーシート ・ゲームボックス（4台：舞台に使います） 	



プログラム名		みんな集まれ ハッピークリスマス！！							
対象年齢		年長（5～6歳）							
ねらい	メッセージ	自然の優しさに気づこう							
	発見・体験 できること	<ul style="list-style-type: none"> ・自然のもつ色、形の美しさ ・葉っぱの感触 ・ご飯粒のベタベタ ・協力して、一つのものを作る喜び 							
参加者のめやす		幼児 35人		/		支援者 5人			
実施時間		30分							
フィールド									
		森・社寺林 公園	山・里	川	湖・池	田畑・ 野原	園庭・ 公園		
実施可能時期									
自然を感じる ためのヒント									
時間		活動				配慮・アドバイス アレンジ			
5分	<p>「木の精」(ミモとモーミ)登場</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・葉っぱを探す 	<p>「木の精」(支援者)は子どもたちが活動に興味をもてるように話します。 (例)「オーイ」ともみの木の下でミモとモーミがみんなを呼ぶ。 「サンタさんから電話があって、ここの保育園を探しているんだけど、場所がわからないんだって、モミの木があるんだったら、目印に飾りをつけておいてほしいんだって」 色や形の美しさに共感しながら、葉っぱを探します。</p>							
15分	<p>モミの木に飾り付けをする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・麻紐やご飯粒を使う 	<p>自然のもの(麻紐やご飯粒)で飾り付けをするようにします。 高いところも飾り付けができるように、カラーボックスを準備します。</p> 							

時間	活動	配慮・アドバイス アレンジ
5分	ふりかえり 	モミの木が子どもたちの飾り付けで、楽しかったことをみんなで喜び合います。 既成のクリスマスツリーと比較します。 (例)「クリスマスツリーの飾りは落ちてしまったらゴミになってしまうが、みんなで作ったモミの木の飾りは、落ちるとこのモミの木の栄養になるし、赤い実は鳥の食べ物になります」 小鳥が登場して、実を食べている姿を見せてもいいでしょう。 
【異年齢への対応】 0.1歳児： ・落ち葉あそび(支援者が高さのあるところから落ち葉をパラパラ落とすことによりヒラヒラ舞う様子を見ましょう) ・年長さんたちが飾りつけたツリーを見ましょう。 2歳児：好きな葉っぱを拾い、支援者が麻紐に通し、子ども自身が木に飾りつけをしましょう。 年少：ふりかえりのときに、小鳥が実を食べている様子が見られるように、小鳥の妖精を登場させましょう。		
【園や家庭に帰ってから】 さまざまな形の容器に麻紐と水を入れて氷を作り、園の木や家の庭木に飾ってみましょう。 飾り付けた木に集まってくる虫などを観察してみよう。		
準備物・教材等	・机 ・麻紐 ・ご飯粒 ・ぞうきん(手についたのりをふくもの) ・不織布(サンタの袋・中にご飯粒と麻紐を入れておく) ・既成のクリスマスツリー ・カラーボックス(飾り付けの踏み台)	



プログラム名		みんな生きているんだ							
対象年齢		年 長 (5～6歳)							
ね ら い	メッセージ	植物は生きのびるためにいろいろな工夫をしていることを知ろう							
	発見・体験 できること	・見たり、触ったりして、いろいろな植物を知る							
参加者のめやす		幼児 25人 / 支援者 3人							
実施時間		30分							
フィールド									
		森・社寺林 公園	山・里	川	湖・池	田畑・ 野原	園庭・ 公園		
実施可能時期									
自然を感じる ためのヒント									
時 間		活 動				配慮・アドバイス アレンジ			
5分		活動内容を知る				<p>「今日はこの原っぱを探検して、いろいろなものを見つけようと思います。」4つのテーマを書いた紙を見せながら、グループのお友だちと一緒に探してくるよ うに伝えます。</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> 服にくっつくもの とげとげしたもの 木からのおとしもの 自分たちより背の高い草 <p>約束(道から向こうへは行かないこと、グループの友 だちと一緒にいくこと)を話します。</p>			
10分		<p>グループの友だち(3～4人) で探しに行く。</p>  <p>服にひっつい ているよ</p>				<p>取りにくいものを取ろうとしている場合には様子を見ながら援助します。</p> <p>道から向こうに行かないように目を離さないように しましょう。</p>			

時 間	活 動	配慮・アドバイス アレンジ
10分	1グループずつ前に出て、1つずつ取ってきたものを見せて発表	「取るときに大変だったことはなかったかな?」「すぐにみつかったかな?」等情報を共有します。
5分	<p>取ってきたものがどういう仲間かを話し合う</p> <p>・ふりかえり</p> <div data-bbox="507 600 683 745" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">先生より高い見つけた!</div> 	<p>「どうしてくっついたり、取りにくかったり、落ちていたり、背が高かったりするのかな?」と問いかけてみましょう。</p> <p>子どもたちの言葉をヒントにしながら、4つのテーマにそって、いろいろな工夫をして草や木は生き伸びていることを伝えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くっつくもの・・・誰かにくっついて違う場所に種を落とす。 ・トゲトゲしたもの・・・実を食べにくる動物が近づいてこないようにしている。実から種になっていく。 ・木からのおとしもの・・・おちた実から新しい芽が出て育っていく。 ・自分たちより背の高いもの・・・種が風にとばされやすい。折れないように丈夫になっている。
<p>【異年齢への対応】</p> <p>1～2歳児：ドングリなどたくさんあるものや目につくものを先生と一緒に拾って遊びましょう。</p> <p>3歳児：先生と一緒に歩いてみて、草木感触を体感したり、先生と同じものを探したりしてみましょう。</p> <p>4歳児：わかりやすいものを選んで一つに絞って探すようにしましょう。</p>		
<p>【園や家庭に帰ってから】</p> <p>親子で一緒に散歩に行ってみましょう。</p> <p>園だよりやマップ等で、遊び方や遊べる場所をお知らせするのもよいでしょう。</p> <p>園の行事で自然体験を親子活動に位置づけ、一緒に参加してもらおうとよいでしょう。</p>		
準備物・教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・ハサミ（グループ数） ・テーマを書いた画用紙 	



プログラム名		にげるバッタ 秋の草まで							
対象年齢		年 長 (5～6歳)							
ねらい	メッセージ	バッタとカマキリの関係を知ろう。秋の草花を知ろう。							
	発見・体験できること	<ul style="list-style-type: none"> にげるバッタの気持ちと追うカマキリの気持ち 捕食の関係 秋の草花(木)の名前、感触など 							
参加者のめやす		幼児 25人 / 支援者 2人							
実施時間		30分							
フィールド									
		森・社寺林公園	山・里	川	湖・池	田畑・野原	園庭・公園		
実施可能時期									
自然を感じるためのヒント									
時間		活動				配慮・アドバイス アレンジ			
導入		遊びの説明やルールを聞く				<p>ウルシ、いばらの木に注意します。行動の範囲を確認します。</p> <p>いろいろな場所にいろんな植物があることを確認しましょう。</p> <p>草木のある場所を指差し、それぞれの名前を確認します。</p> <p>全員が草木の名前と実物が一致するように配慮し、言葉かけをします。</p>			
10分		周りの植物を見てまわる							
5分		草木の名前を確認し合う。 (ススキ、セイタカアワダチソウ、ハギ、マツ)							
						 <p>この花、「ハギ」って言うんや!</p>			

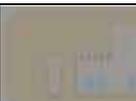
時 間	活 動	配慮・アドバイス アレンジ
15分	<p>花おにをする。</p> <p>1. バッタになって指定されたパネルの植物のところに行きかくれる(ふれる) (ススキ、セイタカアワダチソウ、ハギ、マツの4種類)</p>  <p>2. 支援者がカマキリになってバッタを追いかける</p> <p>3. カマキリにつかまったら、バッタとカマキリと交代する</p> <p>ふりかえり</p>	<p>バッタになりきれるように、その場で一度やってみます。</p> <p>子どもたちがイメージするバッタを紹介し、自分らしいバッタになり、植物にかくれ、なりきれるように配慮します。</p>  <p>かくれた場所の植物を見たり触ったり、においをかいだりして感触を知り、楽しめるようにしましょう。</p> <p>カマキリが空腹でバッタを追いかけてきたことを一人ひとりがイメージをもって楽しめるように配慮します。</p> <p>カマキリに食べられたバッタは土になるという設定で、木の元にその回のゲームがおわるまで休むのもよいでしょう。</p> <p>補食の関係を伝えましょう。 (例)「バッタはカマキリに食べられるよね。バッタは何を食べるの?」「草」「カマキリを食べるのは?」「鳥」「鳥はミミズなんかを食べようね。じゃみんなを食べる生きものは?」「ライオン」「サメ」「みんなを食べる生きものは、あまりいないよね。そのことも知っておいてください」</p>
<p>【異年齢への対応】</p> <p>4歳児：バッタになって草木を探し、五感で感じてみましょう(形、におい、感触)。</p> <p>3歳児：バッタのお面をかぶり、バッタになりきって草木の周りを一緒に探検してみましょう。</p> <p>1～2歳児：草木の周りを一緒に探検してみましょう。</p>		
<p>【園や家庭に帰ってから】</p> <p>家庭や園でバッタやカマキリを飼育してみましょう。</p> <p>バッタとカマキリの関係から、自分が食べている食物の連鎖について考えてみましょう。</p>		
準備物・教材等	<ul style="list-style-type: none"> 植物の写真のパネル 本物のバッタ、カマキリ 	



プログラム名		田んぼの虫になりきろう							
対象年齢		年中 年長(4~6歳児)							
ねらい	メッセージ	身近な虫に関心をもとう							
	発見・体験できること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 田んぼにいる虫 ・ ルーペでみる不思議さ 							
参加者のめやす		幼児 60人		/		支援者 3人			
実施時間		30分							
フィールド									
		森・社寺林公園	山・里	川	湖・池	田畑・野原	園庭・公園		
実施可能時期									
自然を感じるためのヒント									
時間		活動				配慮・アドバイス アレンジ			
3分		田んぼにいる虫について				子どもたちに知っている虫を聞いてみましょう。			
7分		虫探し				ルーペの使い方を説明して、配ります。 p14「魔法のめがね」参照 探す範囲を伝えます。 生きものには優しく接するように伝えます。			
5分		 <p>イナゴみつけたよ。</p>				ルーペを回収します。 どんな虫がいたのか聞いてみます。 捕まえた虫は子供たちにどのようにすればいいか問い、還すように伝えます。			
		どんな虫がいたか伝えあう							
		模倣する				見つけた虫がどんな動きをしていたか、子どもたちに聞いてみます。			

時 間	活 動	配慮・アドバイス アレンジ
10分	イネおに ・ゲームの説明を聞く ・イネになる  イネの格好 ・ゲーム終了	ルールを確認しましょう。 <div data-bbox="762 271 1246 595" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>🍁「イネおに」のあそび方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こおりおにと同じルール。 ・鬼：カマキリ 子ども：バッタ ・カマキリにタッチされたバッタは、その場でしゃがんでイネになる。 ・カマキリは3人、途中で様子をみながら人数を増やす。 ・笛の合図で終了 </div> 鬼（カマキリ）は支援者になります。 逃げ切った子どもたちに拍手を送ります。 カマキリに捕まり、イネになった子どもたちの復活を考えます。
5分	ふりかえり	次回に期待がもてるように声をかけます。
【異年齢への対応】 年少：・特徴のある虫を模倣してみましょう。 （例）バッタ、カマキリ、ダンゴムシ、鳥や動物など ・5～6名のグループになり、支援者がループを持ち、子どもたちに見せます。 ・子ども40名に対して、10㎡ぐらいに範囲を決めます。 ・田んぼゾーンを作り、カマキリにタッチされたバッタは、イネにならず田んぼゾーンに入ります。		
【園や家庭に帰ってから】 図鑑で、探した虫の特徴などを調べてみましょう。 家や園庭などで虫を探してみましょう。 園内の遊具や道具をループで見てください。		
準備物・教材等	・ループ（人数分） ・笛	



プログラム名		田んぼで電車ごっこ							
対象年齢		年中 年長(4~6歳)							
ねらい	メッセージ	あそびを通じて開放感を味わいながら、田んぼの自然に触れよう							
	発見・体験できること	<ul style="list-style-type: none"> ・田んぼの土の感触：やわらかさ、でこぼこ感など) ・イネかぶを踏む音、感触 ・広い空間で風をきって走る楽しさ 							
参加者のめやす		幼児 60人		/		支援者 9人			
実施時間		30分							
フィールド									
		森・社寺林公園	山・里	川	湖・池	田畑・野原	園庭・公園		
実施可能時期									
自然を感じるためのヒント									
時間		活動				配慮・アドバイス アレンジ			
5分		グループに分かれる				8グループに分かれます。			
10分		<p>電車ごっこ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルールを聞く ・電車になり、好きなところに行く ・ゲーム開始  <ul style="list-style-type: none"> ・終点で集合 <p>(移動)</p>				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p> 「電車ごっこ」のあそび方</p> <p>*グループで肩を持って電車を作り、指示に従って動きます。</p> <p>新幹線：スピードアップ 風が吹く：止まる 地震：座る 夜：目をつむる 朝：目を開ける でこぼこ道：イネかぶをジャンプ 山：イネかぶを踏む</p> </div> <p>汽笛の音(笛)で戻ってくることを伝えます。</p> <p>指示は最初3種類にし、なれてきたら増やしていきましょう。</p> <p>電車がとぎれないように、お友だちのことを考えて動けるように伝えましょう。</p> <p>田んぼの土の感触などをふり返ります。</p>			

時 間	活 動	配慮・アドバイス アレンジ
10分	電車リレー ・ルールを聞く ・ゲーム開始 	<div data-bbox="775 266 1283 551" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p> 「電車リレー」のあそび方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央地点の駅長さんとジャンケンをして、勝つと先頭を交代します。最後の人が先頭になったらおわりです。 ・アンカーは帽子を変える（裏返し） ・駅長は支援者が担当する </div> <p>優勝したチームを発表した後、皆が頑張ったことを伝え、喜びを分かち合しましょう。</p>
5分	ふりかえり ・感じたことを話し合う	<p>感じたことを聞くことにより、子どもたちそれぞれの思いに共感します。</p>
<p>【異年齢への対応】 年少：・一人で電車になり、徐々に人数を増やしていき、環境設定のバリエーションも徐々に増やしていきましょう。 ・電車リレーは、駅長にタッチをして戻りましょう。 乳児：・親子で電車になり、親が子どもに環境の変化を伝える電車ごっこをしてみましょう。</p>		
<p>【園や家庭に帰ってから】 四季を通じて、田んぼの変化を見てみましょう。 園庭やアスファルトなど様々な場所を電車で歩き、感触の違いを感じてみましょう。 園や公園でサーキットあそびのコースを作ってみましょう。</p>		
準備物・教材等	コーン（グループ数）	



プログラム名		みんなで わら笑 うんどうかい！！					
対象年齢		年中 年長（４～６歳）					
ねらい	メッセージ	わらに親しみをもち、様々なあそびや使い道を知ろう 自然のものは無駄がないことに気づこう					
	発見・体験 できること	<ul style="list-style-type: none"> ・自然物があそび道具になること ・わらの感触（やわらかさ、かたさ、形） ・わらのにおいや音 ・わらの軽さ、飛びにくさ ・田んぼの走りにくさ 					
参加者のめやす		幼児 60人		/		支援者 5人	
実施時間		30分					
フィールド							
		森・社寺林 公園	山・里	川	湖・池	田畑・ 野原	園庭・ 公園
実施可能時期							
自然を感じる ためのヒント							
時間		活動		配慮・アドバイス アレンジ			
準備				周囲の安全に留意できるよう、事前に危険な場所などをチェックしておきます。			
5分		導入 ・わらを見つける ・感触を知る ・匂う ・わらをとばす 		「これ何だ？」とわらについて問いかけます。 わらの感触を体験できるようにしましょう。 わらを飛ばし、風を感じましょう。わらは軽く、まっすぐに飛びにくいことに気づくように言葉かけをしましょう。			
10分		わら入れ競争 ・チームに分かれる （16人×4チーム） ・ルール説明を聞く ・ゲーム開始 ・チームの色のカゴを追いかけ てわらを入れる ・1分30秒×4回行う。 ・2チームずつ、前半と後半で 入れ替わる		支援者があそび方の見本をわかりやすいように見せます。 玉入れの玉の代わりに、田んぼに落ちているわらでします。 背負っているかごの間隙から、わらがこぼれないように、ビニール袋をかぶせます。 サービスタイムを設け、カゴを止めて待っています。			

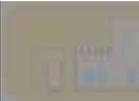
時 間	活 動	配慮・アドバイス アレンジ
10分	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに1列に並ぶ わら玉送り ・ルール説明を聞く ・ゲーム開始 ・2回戦 (前から後ろ、後ろから前) ・終わったチームは、わら玉を置いて座る 	<p>結果報告をします。</p>  <p>支援者があそび方の見本を見せます。 わら入れ競争でビニール袋に集めたわらを使いわら玉送りをします。 前から後ろにわら玉をまわし、一番後ろの人が前にわら玉を持ってきて終了にします。</p> 
5分	ふりかえり	<p>わらがどうなっていくのかを考えたり、また縄やわら細工など実際にわらで作られたものを見せたりして、わらは無駄なく使われていることなどを伝えます。</p>
<p>【異年齢への対応】</p> <p>年少：・ひこばえのイネのあまり成長していない所で、時間を短縮して行ってみましょう。 ・カゴを中央に置き、2メートルほど距離をとって、わら入れをします。 ・わら玉送りは、横方向に渡して行ってみましょう。</p>		
<p>【園や家庭に帰ってから】</p> <p>わら細工を体験してみましょ。う。 わらが出てくる絵本を読んでみましょ。う。(例)わらしべ長者など 四季を通じて親子で田んぼの観察をしてみましょ。う。 地域の人にわらの話を聞いたり、わら細工を教えてもらったりしましょ。う。 家にあるわら製品を園に持ってきて見せ合いましょ。う。</p>		
準備物・教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・カゴ(2個) ・わら入り袋(1つ)わら玉の見本 ・袋(グループ数)わら玉送りでわらを入れる袋 ・色テープ(グループ数) 	<ul style="list-style-type: none"> ・笛 ・時計 ・わらの見本 ・縄等(見本)



プログラム名		みい～つけた冬の自然									
対象年齢		年中（４～５歳）									
ねらい	メッセージ	冬にも美しい自然があることに気づこう 虫たちがカモフラージュして生きていこうとしていることに気づこう									
	発見・体験できること	<ul style="list-style-type: none"> ・花のつぼみやひっつき虫などの感触、におい、形など ・冬の生きものの出会い（虫のたまごなど） ・日頃通っているところの観察 									
参加者のめやす		幼児		３０人		／		支援者		３人	
実施時間		３０分									
フィールド											
		森・社寺林公園	山・里	川	湖・池	田畑・野原	園庭・公園				
実施可能時期											
自然を感じるためのヒント											
時間		活動				配慮・アドバイス アレンジ					
５分		活動の話しを聞く <ul style="list-style-type: none"> ・約束をする ・あそびの説明 <ul style="list-style-type: none"> ・グループに分かれる 				興味、関心が持てるように声をかけましょう。グループで協力して探すように伝えます。自然物は優しく扱い、必要以上に取らないように伝えます。 <div data-bbox="981 1301 1458 1749" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「ゲーム」の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真を貼ったカードを作り、その写真と同じ物を見つけ、見つけたら支援者にシールを貼ってもらう。 ・１枚のカードに３種類の写真 <p>【写真例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひっつき虫 ・表が赤で裏が緑の葉っぱ ・虫のたまご ・青虫の人形（自然物ではない） </div>					
１５分		ゲーム開始 <ul style="list-style-type: none"> ・カードをもらう ・カードと同じ物を探す ・見つけたところにシールを貼る 				探すことが困難な場合は、視線を変えて探すように伝えたり、ヒントを出したり、子どもたちの気づきを大切にしながら発見できるようにしましょう。カードと同じ物を見つけたグループができたら確認します。待っているグループには、ルーペで観察したり、写真を見せたりして、期待を持たせましょう。					

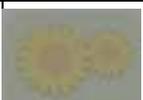
時 間	活 動	配慮・アドバイス アレンジ
5分	自然と区別が付きにくいものを探す (バッタ、割り箸を探す) 	人工物を一つ入れて、自然のものと比較してみましょう。 茶色の枝と区別しにくい割り箸や葉っぱと区別しにくい葉っぱで作ったバッタを使います。 カモフラージュというゲームができます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">  「カモフラージュ」のあそび方 自然の中に置かれた人工物を探し、生きものの擬態や保護色を学びます。 準備：ぬいぐるみ、造花、生活用品、文具などの人工物 (隠す範囲やコースを決め、人工物をセットしておく。) 人工物を探し、触らないようにする。 支援者に、いくつ人工物が隠されていたか伝える 自然界のカモフラージュの役割について話す。 </div>
5分	ふりかえり	見つけてきたものがどのような物だったのか、話しましょう。 (例)・なかなか見つけられなかったのはなぜなのか? : えさを見つけるために隠れていたり、食べられないように隠れていたりする。いきものの生きるための工夫。 ・ひつつき虫は種 : 人や動物にひつついて、種をまく。 ・カマキリの一つのたまごから何匹のカマキリの赤ちゃんが生まれるのか等 : 約300匹、成長するのはわずか。 自然物とそうでない物の違いを話しましょう。
【異年齢への対応】 2歳児 : 一人ずつカードを持ち、色に限定して探してみましょう。 (例) 緑のカード : 緑の葉っぱや虫など緑もの 年少 : ・二人組になり、カエデのような特徴のある物を2種類探してみましょう。 年長 : ・拡大した写真をもとに探してみましょう。 ・見つけたものを描くスペースをあけておきます。 ・見つけたものを調べる時間をもちましょう。		
【園や家庭に帰ってから】 探した物を活かしましょう。(例) 種ならば、植える等。 園や家周辺で、同様の物を探してみましょう。 マップを作り、探した物を記し、保育参観で見てもらいましょう。		
準備物・教材等	・ループ(グループ数) ・アオムシ、バッタの作り物 ・割り箸 ・カード(グループ数) ・シール ・写真 6カ所	



プログラム名		園庭の宝石さがし									
対象年齢		年中（４～５歳）									
ねらい	メッセージ	石にも自分たちと同じように違いや個性があることに気づこう いろいろな物があることで輝いているということに気づこう									
	発見・体験 できること	・石の形、感触、大きさ、色などの違い ・石の表情の変化									
参加者のめやす		幼児		３０人		／		支援者		１人	
実施時間		３０分									
フィールド											
		森・社寺林 公園	山・里	川	湖・池	田畑・ 野原	園庭・ 公園				
実施可能時期											
自然を感じる ためのヒント											
時間		活動				配慮・アドバイス アレンジ					
１０分		ルーペで砂や石、花等を見る				<p>事前にルーペの使い方を知らせます。 ルーペで太陽を見ないことを伝えます。 笛の音で集合することを確認します。</p> 					
１０分		<p>万華鏡を作る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小石を探す ・いろいろな形の石を入れる ・グループ内で万華鏡を見せ合う 				<p>各グループに一つ万華鏡を準備しておきます。 万華鏡を作ることを知らせ、万華鏡に入る大きさの石を探せるようにしておきましょう。 万華鏡の使い方を知らせます。</p> <p>石によっていろいろな見え方があることに気づけるようにしましょう。 子どもたちの驚きや発見に共感しましょう。</p> <p>万華鏡にいろんな自然物を入れてみてみましょう。</p>					

時 間	活 動	配慮・アドバイス アレンジ
10分	石についての話を聞く ・どんな石があったか話し合う ・石はどこから来たのか考える	<p>石はどこから来たのかいっしょに考えましょう。 活動を通して、石にも自分たちと同じように違いや個性があること、またいろいろな物があることで輝いているということに気づいていけるように話しましょう。</p> 
<p>【異年齢への対応】</p> <p>2歳児：ルーペより扱いやすい虫眼鏡や拡大鏡を使いましょう。 年少：・石の見立てあそびをしましょう。 ・石に絵を描きましょう。 年長：・グループでルーペを使いましょう。 ・集めた石を分類し、石で絵を描いてみましょう。</p>		
<p>【園や家庭に帰ってから】</p> <p>近くの川で石を拾って、積んであそんでみましょう。 集めた石を図鑑で調べてみましょう。 保護者といっしょにきれいな石を探しに行き、園で展示してみましょう。 石の展示物を博物館等に見に行きましょう。</p>		
準備物・教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・ルーペ（人数分） ・万華鏡（グループ数） ・笛（1つ） 	



プログラム名		はっぱのいろいろさがし							
対象年齢		年中（４～５歳）							
ねらい	メッセージ	自然物にはいろいろな形や色があることに気づこう							
	発見・体験できること	木や葉っぱの形、色、感触、においなど 自然物が楽しいあそび道具になること							
参加者のめやす		幼児	30人	/	支援者	2人			
実施時間		30分							
フィールド									
		森・社寺林公園	山・里	川	湖・池	田畑・野原	園庭・公園		
実施可能時期									
自然を感じるためのヒント									
時間		活動			配慮・アドバイス アレンジ				
3分		グループごとに座る			自然物はむやみに採らないように伝えます。				
7分		葉っぱ探し ・好きな葉っぱを探す			探す場所を決めておきます。 子どもたちが探してきた自然物は、その都度認めていきましょう。				
10分		カード作り ・見本を見る ・説明を聞く ・カード作り (で見つけた葉っぱを貼り付けたカードを一人1枚作る)			葉っぱのグラデーションができます。 森 20「葉っぱのグラデーション」のあそび方参照				
									

時 間	活 動	配慮・アドバイス アレンジ
7分	カードを見せ合う ・友だち同士で見せ合う ・なかまのカードを見つける ・発表する 	作品を認める言葉を添えましょう。 支援者がなかまのカードを発表し、どんななかまなのかを伝えます。 (例)・同じ葉っぱのなかま ・同じ色のなかま ・ギザギザ(鋸歯)のあるなかま ・大きさが同じなかまなど 作ったカードで、神経衰弱のようなカードあそびをしてみましょう。
3分	ふりかえり	みんなと同じように、葉っぱもいろんな形、大きさ、色があることを伝えましょう。
【異年齢への対応】 2歳児：認識のしやすい形や色、大きさの葉っぱを貼ったカードを5種類用意し、別の箱に同種類の葉っぱを入れて、カードと同じものを探しましょう。 年少：各自が気に入った落ち葉を拾い、ブッカーを貼ってしおりにしてみましょう。 年長：各自でカードを作り、トランプをしてあそんでみましょう。		
【園や家庭に帰ってから】 見つけた葉っぱを図鑑で調べてみましょう。 四季を通じた葉っぱの色づきについて考えてみましょう。 家のまわりで、園にある葉っぱやない葉っぱを探してみましょう。 カードを持ち帰り、家の周りで同じ葉っぱを探してみましょう。 家の人と、いろんな葉っぱを探してみましょう。 葉っぱのこすり絵や色水遊びをしてみましょう。		
準備物・ 教材等	・見本カード(一組) ・ブッカー(画用紙と同じ大きさ 人数分) ・厚紙(A5の大きさ 人数分)	



平成20年度までプログラム作成協力園等一覧

新石山寺保育園, 伊香立保育園, 仰木の里東幼稚園, 逢坂保育園, 唐崎幼稚園, 唐崎保育園, 風の子保育園, 天神山保育園, 志賀南幼稚園, 志賀北幼稚園, 晴嵐保育園, 膳所保育園, 聖パウロ幼稚園, 正休保育園, 大平保育園, 堅田保育園, たんぼぼ保育園, 南郷保育園, におの浜保育園, ひえい平保育園, 比良保育園, 浜大津保育園, 真野保育園, 和邇保育園, 保育の家しょうなん, 平野幼稚園, 真愛保育園, 伊香立児童館, 保育課, 環境課(大津市), 亀山保育園, 神田幼稚園, 城南保育園, 旭森保育園, めぐみ保育園, 多景保育園, 鳥居本保育園, ふたば保育園, みづほ保育園, どんぐり保育園, 森の子保育園(彦根市), びわ保育園, びわ北幼稚園, 浅井保育園, 長浜愛児園, 東保育園, 南保育園, 北保育園, 大谷保育園, 北郷里幼稚園, さくらんぼ保育園(長浜市), あおば乳児保育所, 金田西保育園, 桐原保育所, 島幼稚園, 八王子保育園, メリー保育園(近江八幡市), 第二保育所, 第三保育所, 第五保育所, 第六保育所, 老上幼稚園, 笠縫東幼稚園, 草津カトリック幼稚園, さくら坂保育園, 志津幼稚園, すぎのこ保育園, ののみち保育園, みのり保育園, 山田幼稚園(草津市), 玉津幼稚園, 古高保育園, 吉身保育園, 吉身幼稚園, カナリヤ第二保育園, 速野カナリヤ保育園, 物部幼稚園, 若鮎保育園(守山市), 大橋保育園, こだまふれんど保育園, 金勝第1幼稚園, 金勝第2保育園, 大宝幼稚園, 葉山幼稚園, 葉山東幼稚園, 治田保育園, 治田東幼稚園, 栗東自然観察の森(栗東市), 鮎河保育園, 岩上保育園, 大野保育園, 大原幼稚園, 柏木保育園, 貴生川保育園, 雲井保育園, 甲賀北保育園, 甲賀西保育園, 甲南北保育園, 甲南希望ヶ丘保育園, 甲南東保育園, 甲南南保育園, 信楽保育園, 土山保育園, 伴谷保育園, 水口北保育園, 水口西保育園, 水口東保育園, 明照保育園, みなくち子どもの森自然館(甲賀市), 第一保育園, 第三保育園, 祇王名照保育園, 篠原保育園(野洲市), 菩提寺保育園, 三雲保育園(湖南市), 愛隣保育園, 安曇川はこぶね保育園, くすのき保育園, 朽木保育園, 古賀保育園, さくら園, 静里なのはな園, しろふじ保育園, 高島保育園, なないる保育園, 藤波幼稚園, マキノ西保育園, マキノ東保育園, 朽木いきものふれあいの里, 吹田市立少年自然の家(高島市), 市原幼稚園, 沖野幼稚園, かえで保育園, 蒲生幼稚園, 五個荘北幼稚園, 五個荘東幼稚園, 湖東第一幼稚園, 玉尾幼稚園, つつじ保育園, 八日市寺幼稚園, 平田幼稚園, 中野幼稚園, 長峰幼稚園, 能登川第二幼稚園, 能登川保育所ひばり園, ふたば保育園, もみじ保育園(東近江市), 近江ひがし保育園, 柏原保育園, 米原保育園, 米原中保育園, 米原西保育園, 息郷保育園, いぶき幼稚園, 醒井幼稚園, ふたば幼稚園, 山東幼稚園, 醒井保育園, 長岡保育園(米原市), 安土保育園, 老蘇幼稚園(安土町), 保育所さくら園, 同あおぞら園, 同こぼと園, 桜谷幼稚園, 桜谷幼稚園西分園, 西大路幼稚園, 必佐幼稚園, 西大路小学校(日野町), 竜王幼稚園, 西幼稚園(竜王町), 愛知川保育園, 秦川保育園, ゆたか保育園(愛荘町), 甲良西保育センター, 甲良東保育センター, 甲良第二保育所(甲良町), 多賀幼稚園, 多賀ささゆり保育園, 萱原保育所, たきのみや保育園, 子育て支援センター(多賀町), とらひめ幼稚園, 虎姫保育所(虎姫町), 小谷保育園, 速水幼稚園(湖北町), 高月幼稚園, 高月保育園(高月町), 木之元保育園(木之本町), よご幼稚園(余呉町), 幼稚園きらら(西浅井町), 滋賀大学, 滋賀女子短期大学, 環境カウンセラー, 環境学習支援士, 滋賀県子ども・青少年室

順不同・所在市町名は実施時で表示